

第20回 匝瑳市子ども・子育て会議 会議概要

●日時：令和7年2月6日（木） 午後2時57分～午後3時57分

●場所：八日市場ドーム 選手控室

1 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第3次匝瑳市子ども・子育て支援計画の素案について
 - (2) その他
- 4 閉会

2 出席者

(委員)

加藤 太、山中 結佳、太田 あゆみ、入戸野 早苗、
藍 恒子、熱田 寛明、浅野 雄太、石川 浩之
※欠席者： 櫻井 博美、杉倉 孝夫

(委託事業者)

株式会社グリーンエコ 児玉係長

(市)

事務局（福祉課） 菊間 和彦、眞名田 行儀

3 会議概要

■ 開 会 ■

[事務局]

皆様、こんにちは。

時間前ではありますが、皆さんお揃いということで、始めさせていただきたいと思
います。なお、櫻井委員さんと杉倉委員さんにおきましては、所要にてご欠席という

ことで御連絡をいただいております。

本日もお忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。只今から第20回になります、匝瑳市子ども・子育て会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます市役所福祉課子育て支援班の眞名田と申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議につきましても、株式会社グリーンエコの児玉係長にもご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

[事務局]

それでは、まず初めに、加藤 会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

(加藤 会長あいさつ)

■ 議 事 ■

[事務局]

ありがとうございました。それでは早速議事に入りたいと思います。子ども・子育て会議条例の第6条におきまして、会長が議長になる旨規定されておりますので、これより先の議事につきましても、加藤会長にお願いをしたいと存じます。それでは、よろしくお願いいたします。

【議長】

それでは、議事に入ります。

議事の(1)第3次匝瑳市子ども・子育て支援事業計画の素案について、事務局から説明をお願いします。

(資料に基づき事務局及び(株)グリーンエコから説明)

【議長】

ありがとうございます。グリーンエコの児玉さんから、修正箇所ですね。たくさんあったかと思うのですが、また、81ページの第5章からのいろいろな資料の説明がありました。

資料が多く読み取りが難しいところもあるかもしれませんが、何かご意見とか、質問などがありましたら、あるいは分からないから教えほしいというものもあると思います。いかがでしょうか。

(委員)

児童クラブと子ども教室というのは、どのような違いがあるのでしょうか。

[事務局]

児童クラブにおいては、申し込みをする時に、両親の就業関係とかを確認した上で登録というか、申し込みができる施設。子ども教室は、そういったことがなくでも利用できる施設であると認識しています。

(委員)

これは基本的には学校の空き教室で行っているということなのでしょうか。

[事務局]

児童クラブについては、敷地内に専用の建物があったり、あとは空き教室だったりを利用するといった形で運営はしています。

[事務局]

先程の、両施設の違いというご質問の補足として、議長も先ほどおっしゃっていましたが、国の省庁の管轄の違いということで、放課後児童クラブはもともと厚生労働省で、今はこども家庭庁になったかもしれないですが、放課後児童クラブは保育の意味合いが強い施設。それに対しまして、放課後子ども教室は確か文部科学省の所管ということで、どちらかと言ったら、学校の勉強のみならず、学習というような意味合いが強いという施設ということになります。

【議長】

他にいかがでしょうか。分かりづらいところがありましたら、この際に何か聞いていただいて。

(委員)

54ページの保育サービス実施状況ということで、保育時間で公立であるのに、土曜日にやってる施設とやっていない施設があるというのはどういうことなのか。全部統一ではないのか。私立であれば話は分かるが、公立でどうして違うのかということ。

もうひとつは、60ページの、スポーツ活動の支援という内容ですが、これは匝瑳市ではスポーツだけなのか、それとも他のクラブ、部活もみんな先生方がやらないで、他の人が担当しているのかということ。

それから、98、99ページですが、児童育成支援拠点事業とか、親子関係形成支援事業の中で、年齢が6歳から17歳とか0歳から17歳になっていますが、これは高校生だったら18歳も入るのではないかと。でも18歳になったら成人になってしまうので、18歳を抜いているのかと思って。その辺がよく分からないので、なぜ17歳にしたのか。高校生までとかにしなかったのかということが聞きたいと思いました。

【議長】

ありがとうございます。それでは、3つ質問が出ました。

54ページの公立の豊栄保育所でしょうか。土曜日に保育時間の記載がありますが、このあたりがなぜバラバラなのかということなのですが、事務局いかがですか。

[事務局]

公立保育所の土曜保育につきましては、実施する場所を豊栄保育所に絞っていますが、利用する園児につきましては、八日市場保育所から豊和保育所の全ての施設のお子さんを土曜日に豊栄保育所でお預かりしています。施設ごとのお預かりではなく、人数がそんなに多くはないので、1箇所の施設で対応しているということでもあります。

(委員)

ということは、この4か所分を対応してるということですね。

[事務局]

はい。それぞれの施設で申し込みがあった際には、土曜日については、まとめて豊栄保育所で保育をしているということです。

(委員)

では、他の地区（私立）の人は土曜日に入れないということですね。

[事務局]

そうですね。私立のお子さんとなるとそちらの施設でお預かりをお願いしますということになります。

(委員)

土曜日は児童クラブの利用者が少ないから、まとめて保育するという事になったと思います。あかしあこども園も普段の日より土曜日は利用者が少ないです。

(委員)

まとめて、公立の4施設分も土曜保育があるということを知るようにしていただければいろいろ言う必要がなかった。

(委員)

あかしあこども園も月曜から金曜と土曜日を分けてもらった方が分かりやすかったと感じました。

[事務局]

時間が一緒でも分けた方がよろしいでしょうか。

(委員)

見やすいような気がします。

【議長】

公立の土曜保育も1箇所ですべてまとめて行ってるということを入れてもらえば分かりやすいと思います。

(委員)

人数が少ないから1箇所で済むと思うのですが、まとめて土曜日は～、とかあるといいと思います。

【議長】

あと2つ目がですが、スポーツ活動の支援ということで、スポーツだけの支援なのか、その他はどうなのかということですが、いかがですか。

(委員)

実際にそれをやっているのか、やっていないのか、やりたがっているのか。これでは分からないですね。何年前なののですが、1つの部活に対して外部指導者を頼んでやっていたのは記憶にあるのですが、それ以外は分からない。

だから、この内容であれば小学校も入るのかなと思って。スポーツ少年団は小学校からあるので、小学校も対象になるのかと。小学校だって協議会とか体操とかがありましたよね。

あと、ミニバスはなくなりクラブ化となってしまう、まあ、スポーツ少年団みたいな感じで今はやっているみたいですが、そういうものがどのくらいあって、国ではどのくらいやれと言っているのか。匝瑳市ではどのくらい利用しているのか。

今はそれをやらないで部活の時間を減らして、土日のどちらかを休みにしろとか、時間は何時間にしろというのは少しおかしいと思う。それでいて、良い成績を残してもらいたいというのが、学校もそうだろうし、市役所でもそうだと思うが、そういう感じで受けてしまう。そして、大きい大会に出るようになると、市役所に横断幕が出るが、なぜその子たちがそこまでやっているのか。大きい大会に出るには、やはりその部活内だけの時間でやってはいない。なので、それをどこまで見ているのか。

(委員)

現状として、今どのような支援がなされてるのですか。実際はどうなのかと思って。

[事務局]

正直どこまでの支援ということになってくると、担当課に確認をしないと回答は難しいです。

(委員)

学校の中では、他の支援というものもあると思いますが、実際にどのような支援をしているのかということは知りたいです。

[事務局]

それをこの項目の中に何か組み込むということですか。

(委員)

ただ、これだけの内容で出すのは簡単だろうけれども、実際どのぐらいやっていて、もっと増やしたい、減らしたいとかというものが見えてこない。

国ではどのくらいまでやってもらいたいということもこれだけでは分からない。

(委員)

今、学校も部活とかは前より少なくなっている。または、やっていないところもあるのではないのでしょうか。だから子ども達は先程お話があったように、他のクラブに行っているということで、学校もやってない感じです。なので、実態はどうなのでしょう。

[事務局]

恐らく、学校もそちらの方に移行したり、先生方の負担を減らしたりということもあると思います。

(委員)

それもあるだろうけど、小学校の場合には、野球があってミニバスがあって、サッカーもあるが、それは各学校から集まってやっているということは見聞きしているけども、中学は全然分からない。

(委員)

子どもたちが朝早く自転車で走っているのは、きっと部活に行っているのだろうと思っていましたけど。

[事務局]

当然、部活動はどこの中学も行っていると思います。

(委員)

ただ、そこに学校の教師が入ってるのか、または外部の人材を入れているのか。

(委員)

教師は入れないようなこと言っていたと思う。だから、それで何かあった場合にどうするのかということが問題になってくると思うので、どこまで外部の人材をお願いしているのかと思っている。

(委員)

支援しますということは、例えば、外部に講師料を払っているとか色々あると思います。

[事務局]

自分の子どもが中学校で部活をやっていた際に、そこに外部の方が入っていたということは記憶にあります。ただ、その方がどういう形で入っていたのかということは詳しく聞いていなかったです。

(委員)

当時は、ほとんどがボランティアで、1人の方に長として入ってもらって、あとは、その教え子の何人かが交代で見に来てたということは記憶に残っている。自分の子どもがやってる頃だからもう何十年か前になると思う。

ただ、八日市場二中のソフトボール部であったが、結局、見る先生がいなくなってしまったということで、ソフトボール部は廃部という形になってしまい、そういうことも少し寂しい問題であると思っている。

【議長】

よろしいでしょうか。私は学校にいましたので、確かに働き方改革で、指導等については、地域の方に移行を考えてはいるのですが、まだまだこれからだと思います。

実際に中学校では先生が教えていますので、今それをテスト段階で取り組んでいるのではないかと、それも全ての部活ではないと思います。まあ、テスト段階ですので、実際、働き方改革ということで、土日も今は1日しか部活はできないように文部科学省から指導が入っています。時代は流れていますが、ただ、地域の方が全部教えているかといったらまだそこまでの体制は組めていない状況です。

(委員)

確かに中学の先生は大変だと思いました。授業が終われば、その後部活にずっと出て、学校の事務等はそれが終わった5時以降で、帰りは8、9時とかになってしまう。そういう大変さがあるから外部人材とかのいろいろな支援があると思います。私は小

学校の教員だったのですが、身近な方で子育てしながら、一旦家に帰ってご飯を食べさせて、また学校に戻ると、そういう方もいらっしゃいました。

(委員)

逆に寂しいという先生もいる。今まで、小学校から中学、高校、大学でずっとやってきて、今度、中学等で教員として教えられると思っていたものが、それができなくなってしまい、少しがっかりしている先生も知っている。そうかと思うと、校長先生の意向で今までやってきたものでなくて、全然畑違いのことをやらされると言っていた先生も実際に知っている。

だからそういうのは何とかならないのかということと、この項目の中で、どのようなことができるのか、やってもらいたいのか、というものを示してもらいたいと思います。これだけでは、どこまでやっていいのかということが分からない。

【議長】

私は小学校にいたのですが、昔は体操とかミニバスとか水泳、いろいろな部活があったのですが、今は本当になくなって、陸上が短期間にあるぐらいでしょうか。一応大会はありますよね。ただ、そうは言ってもお子さんがスポーツをしていないかというところ、スポーツの種類が多岐に渡ってます。ダンスや柔道をやっている子どももいるし、いろいろなスポーツをやっています。やはり変わってきていますね。

それで、指摘があった60ページのスポーツ活動の支援というのは、どちらかといったら、59ページに戻ると、地域における子育て支援ということですので、学校の部活というよりも、むしろ地域の、まあ、スポーツ少年団などがありますが、そうしたところへの助力のことを言っているのではないのでしょうか。学校の方では文部科学省で試験的に移行をしているところですが、どちらかというところ、地域のスポーツクラブへの支援、そんな感じがするのですがいかがですか。ここで学校の要素を入れてしまうとまとまりますかね。

(委員)

でも、中学校まで入れていないとおかしなものになってしまうと思う。逆に小学校だったら、スポーツ少年団が結構あるので、そっちに行ってもらえれば、それで収まってしまうと思うが、子育て支援ということであれば、それこそ先程の年齢の件ではないが、18歳か17歳という中で、17歳というのであれば、高校3年の途中までが対象となってくると思うから、そういうことも考えないと、小学校だけでは収まらないと思います。

【議長】

そうしたご意見が出ましたので、どこまで範囲を広げるかということで、この表記に関係することだと思います。確かに、子育ては中学生も対象にはなるということ

あるのですが。

(委員)

小学校もそうかもしれないが、中学校に入ってからの方が本格的に、まあ、高校入ってから、新しい部活に入って全日本とかオリンピックとかに出た人もいると思うが、そういうのはすごい稀だから。

【議長】

中学校の部活で、地域の方を活用する種目ですよね。剣道とか柔道とか、そういう種目とかはやりやすいという話は聞いたのですが。

(委員)

この地域の方もお仕事をしていたりするから、なかなか思い通りにはなりませんよね。仕事の合間ということですよ。

【議長】

やはり相談の上で、両者がウィンウィンの関係でなければなりませんからね。では、そうした意見が出たということによろしいですか。

[事務局]

生涯学習課にも確認をしながら、何か付け足す文章等を検討します。

(委員)

生涯学習課もそうだけど、学校の方なので、学校教育課でも確認をしてもらわないと。生涯学習課よりも学校教育課でしっかり出してもらわないと。それがまとまって、生涯学習課の方で、人を頼むとか探すとかということが出てくると思うので、学校教育課の方が先だよ。生涯学習課の方はその後になるよね。そっちがないうちに生涯学習の方でそれをやるというのはいかないと思う。

(委員)

その連携はどうなっているのですか。

[事務局]

まず、生涯学習はこの項目に関して、どの範囲までとか、その考え方をまず確認しておかないといけないと思っています。

(委員)

学校教育課において、どこまでやってもらっていいのか、ということを出してもら

わないと。そうしたら生涯学習課の方で人を探した時にどこまでだったらできるよという話が出てくると思うので、生涯学習課が先だったら順番が違うと思います。

【議長】

部活のことを視野に入れるとなると、意見のとおり学校教育課と生涯学習課になるかと思うのですが。

[事務局]

では、その辺を踏まえて確認を取ります。

【議長】

それで、あと3つ目なのですが、先程もお話が出ましたけど、17歳の表記の取り方なのですが。

[グリーンエコ]

説明になるかどうかわかりませんが、17歳と記載している箇所が3つありまして、「子育て世帯訪問支援事業」と「児童育成支援拠点事業」、「親子関係形成支援事業」の3つなのですが、こちらの新しい3事業というのが令和4年の児童福祉法の改正により、新しく事業化されたものになっております。

実際はこういうサービスがある中で、現時点ではニーズの把握ができていないため、これから実施を検討するところであるのですが、あくまで児童というところで、18歳未満は子どもという位置付けをしているので17歳という記載になっています。18歳以上になると成人という意味では、そういうサービスに関してではなくて、政治に対してのサービス対象になるということで、国の規定で17歳という記載になっていることから、このように表記させていただいてるところです。

【議長】

ありがとうございます。法令上の関係ということであります。

(委員)

それしか考えられなかったが、高校3年生で、当てはまるものと当てはまらないものが出てきてしまうのはどうかと思っていたので。それと、医療費の助成は、高校3年生までかかってきますよね。だから取り方が分からなかった。

(委員)

政治意識のあり方も少し変わってきましたよね。18歳と20歳で、今まで行ってきた式典等のネーミングが変わってきている。18歳でやっているところは意外と少なく、20歳でやっていますよね。匝瑳市も「20歳の集い」という形でやっている。

だから成人式というネーミングはあまりなく、今までの晴れ着を着たりするお祝も少し変わりましたよね。

(委員)

18歳ではやれないですよ。ちょうど受験の時期だから。だから匝瑳市も20歳でやるということで、一般市民を含めてアンケートを取ったみたいで、議論にも参加させてもらいましたが、やはり20歳の方がいいのではないかとということでありました。

《※その他、18歳、20歳の成人式等に関する意見等あり。》

【議長】

では3つの質問に対する回答はよろしいでしょうか。

(委員)

はい。

【議長】

ありがとうございます。

その他はどうですか。ご意見・質問等なければ、次に移らせていただきますが。

(委員)

すみません。21ページなのですが、各種手当とか助成の受給状況で、年々減少傾向ではないですか。これはやはり人数が少なくなってきたことが原因ですよ。

[事務局]

そうですね。対象のお子さんがいれば支給するわけですから、対象者数の減少が考えられます。

【議長】

あとはよろしいですか。

では、次に移らせていただきます。

【議長】

続いて、議事の(2)その他について、本日の会議の全体を通じて何かご意見、ご質問等があればお願いします。

《意見等なし》

【議長】

よろしいでしょうか。では、続いて、事務局の方から何かございますか。

(事務局から事務連絡)

【議長】

以上ですべての議事が終了しました。

委員の皆様には、長時間にわたり、議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

■ 閉 会 ■

[事務局]

会長におかれましては、円滑な議事進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日いただきました貴重なご意見・ご要望につきましては、新計画策定にあたっての参考とさせていただきます。

それでは、以上を持ちまして、第20回匝瑳市子ども・子育て会議を終了いたします。長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。お疲れ様でした。